

YOSANO No.33

広報よさの



特集
スポーツの秋。

●今月の表紙
第1回与謝野町駅伝競走大会
(10月5日撮影)

2008
11

広報よさの 11 2008 No.33

発行：与謝野町役場 編集：企画財政課
住所：〒629-2292 京都府与謝郡与謝野町字岩滝1798番地1

TEL：0772-46-3084 (直通)
FAX：0772-46-4630

URL：http://www.town.yosano.lg.jp/
E-mail：kikuzaisei@town.yosano.lg.jp



全日本マスターズ陸上60m・200m優勝

須川好教さん 努力でつかんだナンバーワン

7月の「第16回京都マスターズ陸上競技選手権大会」のM40クラス(男子40〜44歳)60mで日本記録(7秒31)を樹立した須川好教さんを、今回の「よさの人」としてクロスアップ。
日本記録樹立後の取材で語った「全日本マスターズで優勝」との言葉どおり、「第29回全日本マスターズ陸上競技選手権宮崎大会」(9月26日〜28日・宮崎県宮崎市)の同クラス60mで日本記録(7秒31)、200mで大会新(22秒83)をマークして2種目を制し、100mは3位に入った。
初日の200mは、「絶対に勝つ」と心に決め臨んだレース。それは、日本記録保持者でもあるライバルを意識したもので、「今回の200mは久しぶりに気合が入った」と須川さん。結果、0秒18差でライバルを振り切り、目標の23秒切りも果たし、大会新を樹立(写真)。勢いそのままに、翌日行われた60mでは日本タイ記録をマークし、2種目制覇の偉業を達成した。
今では町を代表する短距離選手として知られる須川さんだが、陸上を始めたのは、意外にも社会人になってから。



「高校時代は野球をやっていた。旧野田川町で行われていた町民運動会がきっかけで、20歳の頃本格的に走り始めた。町民運動会がなかったらここまで走っていなかったのでは」
以降、府民総体や京都選手権など数々の大会で活躍。35歳からはマスターズの大会に出場するようになり、数々の優勝を重ね、昨年度は「京都府スポーツ賞・マスターズ賞」を受賞した。
30歳になってから記録が伸びたというその秘訣は、何といても日々の絶え間ないトレーニング。「まだ自分に足りないものはないか」と考えながら、週に5日から6日、マスターズに出場

する選手や中学3年の息子の同級生とインターバル走などで約1時間汗を流すのが日課。冬場は、クアハウス岩滝でのトレーニングや森林公園での坂道ダッシュなど独自の強化トレーニングで体を鍛え、次のシーズンに備えるという。
「1年1年が勝負。35歳を超えてからの方が陸上への思いが強くなってきた」という須川さん。今後の目標をたずねると、「200m(同クラス)の日本記録(22秒57)。かなり大きな目標だが、何とかやぶりたい」と力強く語ってくれた。きつと近い将来、その努力が実を結ぶ日がくるにちがいない。

すがわ よしのり 昭和43年生まれ。四辻在住。野田川クラブ所属。60m・7秒31、100m・11秒1、200m・22秒57の自己ベストは、いずれも30歳を超えてからマークしたもの(写真：須川さん提供)

※マスターズの日本記録は年2回(3月末・8月末現在)公認。8月末現在では記録は更新されているが、全日本マスターズは3月末現在の記録を基準としているため、日本記録と表記。

スポーツの秋。

よさの各地で熱戦を展開！

暑い夏が終わりをつけ、いよいよ秋も深まってきました。「読書の秋」「芸術の秋」「食欲の秋」：と、いろんな秋がありますが、今月号では与謝野町の「スポーツの秋」をピックアップ。スポーツイベントの熱戦の結果と夏に続く中高生の活躍を紹介します。

第63回国民体育大会（大分国体）・第39回ジュニアオリンピック陸上競技大会

町内の中高生が夏に続いて、秋の全国大会でも大活躍をしました。「第63回国民体育大会（大分国体）」の陸上競技（10/3～7・大分市）には、伊達愛美さん（江陽中3年）と濱野美涼さん（加悦谷高2年）が、ウエイトリフティング競技（10/4～6・国東市）には、坂本文弥君（加悦谷高3年）と小林克己君（同）が出演。また、「第39回ジュニアオリンピック陸上競技大会」（10/24～26・横浜市）には、伊達愛美さんと中村有希さん（橋立中1年）、嶋崎成次君（同3年）が出演しました。その結果と大会を終えた皆さんの声を紹介します（以下敬称略）。

Junior high school

中学生の活躍



だてまなみ
伊達愛美（江陽中3年）

[大分国体] 少年女子B 100m出場/成年少年女子共通 4×100mリレー 8位入賞
[ジュニアオリンピック] A女子200m 4位/A B C女子共通 4×100mリレー出場
国体100m準決勝。「慎重になった」と2回目となったスタートで出遅れ、惜しくも決勝進出を逃しましたが、京都代表の1走を務めたりレーでは、13年ぶりの決勝進出の立役者に。また、ジュニアオリンピックの200mは準決勝で1位のタイム（25秒31）をマーク。「優勝を意識して硬くなった」というものの、見事4位でゴール。高校進学後も陸上を続ける伊達さん。「まずは自己ベストを出し、全国で上位を争える選手になりたい」と抱負を語ってくれました。



しまさきせいじ
嶋崎成次（橋立中3年）

[ジュニアオリンピック] A B C男子共通 4×100mリレー出場
個人種目でジュニアオリンピックの出場を目指していた嶋崎君でしたが、足の故障で予選会を欠場。しかし、夏の府大会1位、全国大会出場などの実績が買われ、京都代表のリレーメンバーに選ばれました。レースでは2走を務め、準決勝まで進出。「決勝進出を逃し悔しかったが、3年間陸上をやってきて、精神面やリレーでのチームワークなどを学ぶことができ、成長できた」と嶋崎君。高校進学後は陸上競技を離れ、野球の道に進むとのことですが、新しい舞台での活躍にも注目です。



なかむらゆうき
中村有希（橋立中1年）

[ジュニアオリンピック] C女子100mハードル 6位入賞
夏に続き、1年生で2度目の全国の舞台となるジュニアオリンピックでしたが、大会2週間前に肉離れを起こし、出場が危ぶまれていた中村さん。十分な練習ができていなかったため、「決勝には「行けたらいいな」くらいに考えていた」といいながらも、予選、準決勝を突破し、見事6位入賞を果たしました。「練習できていない中で、この結果が残せてよかった。スタートが遅いので、一つ目のハードルまで速くいけるよう課題を克服して、来年も入賞したい」と力強く話してくれました。



さかもとふみや
坂本文弥（加悦谷高3年）

[大分国体] 少年男子85kg級
スナッチ優勝、ジャーク3位、総合2位
苦手のジャークで挙げた141kgは、試合で初めて成功した重量。得意のスナッチは、選抜大会、インターハイに続いての優勝を飾りました。「インターハイのときより重い重量が扱えたので楽しくできた。インターハイより順位が上がってよかった」と笑顔を見せてくれた坂本君。高校入学後に始めたウエイトリフティング競技ですが、今大会で競技人生を終え、進学後は別の道に。引退試合となった大会を振り返り、「3年分の力が出し切れた」と話す坂本君は、充実した表情を浮かべていました。



こばやしきき
小林克己（加悦谷高3年）

[大分国体] 少年男子94kg級
スナッチ優勝、ジャーク2位、総合2位
スナッチは優勝、しかし、ジャークは失敗もあって2位に終わり、「自分の力が出せなかった。インターハイで負けた選手にジャークで勝たかった」と悔しさをにじませた小林君。この悔しさをバネに、高校生活の残る3試合では「高校記録を狙う」と力強く宣言。大学進学後も競技を続ける小林君は、「加悦高に来たときの目標が『全国で勝つ』こと。2年の時は無理と思っていたが3年で達成できた」と3年間を振り返り、「大学でも日本一を目指したい」と抱負を語ってくれました。

High school

高校生の活躍



はまのみすず
濱野美涼（加悦谷高2年）

[大分国体] 少年女子共通やり投げ11位
バレーボールから陸上へ転向して約1年あまりで手にした、初の全国大会への切符。「京都の代表として出る大会なので不安もあった」とのことですが、競技では44m46を投げ、自己ベストを更新。惜しくも入賞は逃しましたが、「自分よりレベルの高い人と戦うことができ楽しかった。技術もあるが、筋肉の付き方が違った」と課題が見つかったといいます。「冬のトレーニングで筋力をつけて、インターハイで上位に入る力をつけたい」と次の目標を話してくれました。

第1回与謝野町駅伝競走大会

市場チームが初代優勝の栄冠に！

「第1回与謝野町駅伝競走大会」（町体協主催）が十月五日、石川小学校をスタート、与謝野町役場をゴールとする町内周回コース（総距離二・六・八キロ、十六区間）で行われ、各小学校区から八チームが参加しました。時折り雨が降るあいにくの天候の中、選手は沿道の声援を背に熱戦を展開。二区で先頭に立った市場チームが、その後首位の座を明け渡すことなくたすきをつなぎ、初代優勝の栄冠を手に入れました。順位と区間賞は次のとおり（敬称略）。



上/ゴール前のテッドヒートに沿道も大声援 右下/第十一中継所（四辻公民館 左下/第四中継所（金屋公民館）

●チーム順位

- 優勝 市場
- 2位 加悦
- 3位 与謝
- 4位 山田
- 5位 石川
- 6位 岩滝
- 7位 三河内
- 8位 桑飼



優勝した市場の選手とスタッフの皆さん

●区間賞

- 1区 西田龍之介（与謝）
- 2区 平井 勝（市場）
- 3区 山本 泰典（加悦）
- 4区 小谷 亜未（山田）
- 5区 藤原 孝一（三河内）
- 6区 中西 裕一（石川）
- 7区 平井 琴加（市場）
- 8区 大江 雄登（加悦）
- 9区 和田 武巳（与謝）
- 10区 吉田 雅広（市場）
- 11区 田中樹希耶（岩滝）
- 12区 白数 正文（山田）
- 13区 岩谷みちる（加悦）
- 14区 一色 恭志（岩滝）
- 15区 鈴木亜弥子（加悦）
- 16区 井上 敦至（岩滝）

第3回与謝地方スポーツ交流大会

三百九十五人が熱戦を展開

「第三回与謝地方スポーツ交流大会」が十月十二日、今年伊根町を主会場として開催されました。与謝野町からは競技ごとに、旧町単位、選抜チームなどでチームが編成され、三百九十五人の選手が参加し、熱戦が繰り広げられました。与謝野町の成績と、今年から設けられた最優秀選手は以下のとおり（各競技の最上位チームの順位のみ掲載。敬称略）。

●成績

- ソフトボール
 - 成年：優勝（加悦）
 - 壮年：優勝（加悦）
 - シニア：優勝（岩滝）
 - 女子：2位（岩滝）
- 野球 優勝（加悦）
- バスケットボール
 - 男子：3位
 - 女子：優勝



上/ソフトボールは宮津市民グラウンドで開催 右/ダブルスを戦う与謝野町チーム(右)

●最優秀選手

- ソフトボール
 - 成年：相浦 亮樹（加悦）
 - 壮年：松井 栄治（加悦）
 - シニア：永浜 光彦（岩滝）
- 野球
 - 赤西 和康（加悦）
- 弓道
 - 河嶋俊二郎（野田川）
- ボウリング
 - 松尾 康信（野田川）
- グラウンドゴルフ
 - 山口 博己（岩滝）



たくさんの人でにぎわう会場

●大内峠紅葉まつり
一足早い紅葉狩り

天橋立を横一文字に望む絶景地、大内峠一字観公園を会場に10月26日、「第21回大内峠紅葉まつり」が開催されました。

自慢の紅葉が色づくにはあと一息というところでしたが、峠のふもとは山頂を目指すハイカーの姿も見られ、会場では各種バザー、カラオケ大会、輪投げ大会、俳句展、ポケ封じ祈禱など、さまざまな催しが行われました。訪れた人たちは、肌寒さを吹き飛ばす絶景に目を奪われ、子どもたちは公園内を元気に走り回っていました。

●石川保育所さつまいも掘り
大きなおいもがとれたよ

収穫の秋を迎え、町内の保育所（園）ではさつまいも掘りが行われました。10月15日には、石川保育所の園児たちが、自分たちで春に植えたさつまいもを収穫。次から次と出てくるさつまいもに歓声をあげていました。



大きなさつまいもを掘り当て笑顔を見せる園児



着物姿の人でにぎわいました

●ちりめん街道まるごとミュージアム
往時にタイムスリップ

国の重要伝統的建造物群保存地区の選定を受けているちりめん街道で10月19日、「ちりめん街道まるごとミュージアム」が開催されました。

街道を歩くと、着物姿の人が行き交い、ちりめん小物や特産品を展示・販売する「街道市」が軒を連ね、かつてのちりめん街道のにぎわいを彷彿させました。

また、前夜祭として17日と18日には街道沿いの家の軒先に行灯がゆらぎ、18日には「癒しの街道コンサート」から流れる美しい琴の調べが街道に響き渡っていました。



ちりめん街道を通る騎馬隊

●地域安全パレード
安心・安全のまちを目指して

全国地域安全運動期間（10月11日～20日）中の10月19日、与謝野町防犯推進協議会の主催で「与謝野町地域安全パレード」が加悦地域で行われました。

今年のパレードは、同日開催の「ちりめん街道まるごとミュージアム」の会場を通るコースが設定され、京都府警察本部音楽隊、カラーガード隊、平安騎馬隊がパレードを先導し、防犯委員らが地域安全の広報啓発を行いました。その後、乗馬体験や警察犬ふれあい体験なども行われ、多くの人でにぎわいました。



絵画を鑑賞する来場者

●文化・工芸の里合同作品展
芸術の秋を堪能しました

昨年までの「工芸の里秋季フェア」から装いも新たに「与謝野町文化・工芸の里合同作品展」が10月26日に開催され、里内でパン工房を開設する野田川共同作業所が今年初めて参加しました。

文化・工芸の里には、木工、彫金、陶芸など、さまざまな手工芸職人が集い、日ごろは独自の創作活動に励んでいます。この日は各工房を一般開放。訪れた人たちは、展示された作品や作家との交流を通してその世界観に魅了され、芸術の秋を楽しんでいました。



鎌で稲を刈り取る参加者

●お米の収穫祭
自分たちが植えた米を収穫

野田川地域の農家グループ「ビッグファーマー野田川」の主催による秋の恒例行事「お米の収穫祭」が10月12日、野田川わくばる前の田んぼで開催され、同グループの米の消費者である京阪神地域の親子連れや町内の小学生など140人の参加者でにぎわいました。

6月の「田植え祭」で植えた稲を収穫するこの催し。稲刈り体験を楽しんだ後は、餅つきなどが行われ、つくたての餅やぜんざいなどに舌鼓を打ち、参加者は実りの秋を満喫していました。



岩滝会場の様子

●与謝野町敬老会
いつまでもお元気で

「与謝野町敬老会」が、9月27日は野田川、10月3日は岩滝、10月4日は加悦の各地域で、今年も盛大に開催されました。今年の敬老会対象者は4,490人（男：1,659人・女：2,831人）で、3会場合わせて900人を超える方が参加しました。

各会場では、米寿の祝い品の贈呈などが行われた後、敬老のお祝いに駆けつけた園児らのステージショーや小学生の作文などが発表され、そのかわいい演技や心のこもった作文に参加者は目を細め、楽しいひとときを過ごしていました。



給食を試食し児童と交流を深めました

●中国教職員招へいプログラム
中国の教職員が訪問

中国の教職員を日本に招待し、教育システムや文化を学んでもらおうと、ユネスコ・アジア文化センターによる国際交流事業「中国教職員招へいプログラム」が10月19日から23日まで実施され、その訪問先に選ばれた与謝野町では、町内の小・中学校や旧尾藤家住宅、古墳公園、江山文庫などを訪れました。

小・中学校では、授業の見学や給食の試食を通して子どもたちや教職員と交流を深め、視察を終えた一行からは「児童らの明るく意欲的な姿が印象的」との感想が聞かれました。

●高齢者交通安全大会
四辻区有志の「ザ・八幡」が団体の部で優勝

胸にメダルが輝く「ザ・八幡」の皆さん。前列左から加畑進一郎さん、増田乙久さん、須川政教さん、横井千助さん、多賀野博さん、後列左から西垣正敏さん、松本武志さん（写真：「ザ・八幡」提供）



「高齢者交通安全大会（北部大会）」が10月19日、舞鶴自動車学校で開催され、府北部各警察署管内から出場した5チーム（35人）が、学科テストと安全運転テスト（自動車・自転車）の2種目3競技の総合得点で団体の部を争い、四辻区の65才以上の有志チーム「ザ・八幡」が見事優勝を果たし、各部に設けられた最優秀賞（自転車）に須川政教さんが輝きました。

7人のメンバーは1ヵ月間、四辻公民館で自転車訓練を行い、学科テストに向けては宮津警察署指導のもと猛勉強。また、自動車訓練に訪れた教習所では教官から多数の指摘を受け、その項目を洗い出して毎日の運転の中で気をつけたといいます。「優勝は練習の賜物で、一致団結できた」と大会を振り返る増田乙久さん。四辻区が高齢者交通事故防止モデル地区ということもあり「これが高齢者の事故防止を考えるきっかけになれば」と話してくれました。

●KYOのあけぼの大学地域講座
男女共同参画社会を学ぶ

男女共同参画社会の実現を目指す与謝野町と京都府による「KYOのあけぼの大学」地域講座が10月15日、知遊館で行われました。

この講座は、男女共同参画の視点を様々なテーマから学ぶもので、府内各地域で行われています。与謝野町会場では、小芝ルリ子さん（「役に立つ夫会」主宰、絵本作家、ハーブの家オーナー）が、「エンジョイ！自立人生」をテーマに講演。ワーク・ライフ・バランスや自立人生の楽しみ方などの話に参加者は聞き入っていました。



絵本を読み聞かせる小芝さん（右）



フリスビーを対抗ストライクアウト

●スポーツフェスタよさの2008
スポーツの秋を満喫

スポーツの楽しさを広め、スポーツ交流の輪を広げることを目的に「スポーツフェスタよさの2008」が10月13日、岩滝体育館と岩滝グラウンドで開催されました。

午前、ストラックアウトやバタピンゴなど年齢や体力に関係なく楽しめる7種目のニュースポーツを行う「ニュースポーツ番付」を実施。午後からは「卓球バレー」や「三世代グランウンドゴルフ」などのニュースポーツ大会が行われ、参加者は、秋晴れの空のもと、心地よい汗を流し楽しんでいました。

あなたの大切な人を暴力から守るために

ドメスティック・バイオレンス (DV) ってなに？

● Domestic Violence

「ドメスティック・バイオレンス (Domestic Violence)」という用語は、しばしば「DV」と略されて使われています。ドメスティック・バイオレンスを直訳すると、「家庭内の暴力」ですが、「配偶者や恋人など親密な関係にある、またはあった者から振られる暴力」という意味で使われることが多いようです。

DV被害者は、多くの場合女性です。「暴力」というと、殴る蹴るなどの身体的暴力を考えますが、それだけでなく、

精神的暴力や性的暴力といった形態も含まれます。これらの暴力は単独で起きることもありますが、多くは、それらが複雑に重なり合って女性の心と身体を傷つけています。また、DVは外部からの発見が困難な場所で行われるため、周囲も気づかないうちに暴力がエスカレートし、被害が深刻化しやすいという特性があります。そのため、DVを受けている女性は、恐怖や無力感にさいなまれ、心身に大きな傷を受けることとなります。

DVは犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害です。次のようなさまざまな暴力がDVとして挙げられます。

- **身体的暴力**
殴る、蹴る、物を投げつける、タバコの火を押しつける、髪を引っ張る、殴るふりをして脅すなど。
- **精神的暴力**
ののしる、からかう、無視する、交友関係や外出を制限したりチェックする、大切にしているものを壊す、「別れるなら自殺する、殺す」と言葉で脅すなど。
- **性的暴力**
セックスの強要、避妊に協力しない、見たくないポルノなどを見せる、性的で侮辱的な言葉を言うなど。
- **経済的暴力**
「誰のおかげで食べていけるんだ」と言う、生活費を渡さない、お金の使い方を細かくチェックするなど。
- **その他の暴力**
子どもに暴力を振るう、「子どもを取りあげる」と脅す、使用人のように使う、家庭内の重要なことを自分ひとりで決めるなど。

十一月十二日(水) 二十五日(火)は、
「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。



女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク

DVを理解するためにQ&Aで考えてみましょう。

● Domestic Violence

暴力を振るわれる方に問題があるのでは？

暴力を振るう人は「言うことを聞かないからだ」など、さまざまな理由をあげますが、責任は暴力を振るう側にあり、どんな理由でも許されるものではありません。被害を受けた方が「私の方が悪いのでは」と思い込む必要はありません。

なぜ被害者は逃げないのですか？

暴力を受け続けていると、身も心も傷つき逃げる気力も体力も失われてしまいます。また、被害者がその状況から逃げ出そうとしても、経済的なことや、親・子ども等親族に被害が及ぶことを考えたり、見つかって連れ戻された時にもっとひどい目にあうのではと考えると、逃げるきっかけを失ってしまうのです。

暴力を振るう人は特別な人でしょ？

加害者に特別なタイプというのではなく、年齢・学歴・職業はさまざまであることがいろいろな調査でわかっています。外では温和で愛想が良く「えっ？あんなやさしそうな人が…」という人が加害者であるということも珍しくありません。

子どものために我慢したほうがいいのでは？

母親が父親から暴力を受けているという状況では、子どもは混乱と不安に陥ります。これは、児童虐待に当たり、子どもの心身の発達、成育過程に大きな影を落とします。DVは被害者の基本的人権を侵す暴力であることから、我慢する必要はないのです。

私 たちが被害者に対して無理解であったり、誤った思い込みを持ちたりすると、被害者を孤独に追いやり、傷つけるなどの二次的被害を与えることとなります。被害者の置かれている深刻な事象や、被害者が持つ恐怖や不安など、DVについて正しく理解することが重要となります。

ひとりでも悩まないで。

● Domestic Violence

相談したい (相談窓口)

- 京都府配偶者暴力相談支援センター
☎ 075 (441) 7590
- 京都府警察総合相談室(京都府警察本部)
☎ 075 (414) 0110
- 宮津警察署相談室
☎ (25) 0110
- 京都府男女共同参画センター(京都市)
☎ 075 (692) 3228
- 丹後保健所福祉室
☎ 0772 (62) 4302
- 与謝野町役場福祉課
☎ (43) 1513

逃れたい (一時保護・自立支援)

京都府婦人相談所では、各種相談業務を行うとともに、被害者の「一時保護業務」を行っています。子どもと一緒に、しばらく安全に生活することができま。また、京都府配偶者暴力相談支援センターでは、「自立支援」のためのさまざまな情報を提供しています。

- **就業の促進**
職業紹介、職業訓練等に関する情報提供

住宅の確保

公営住宅に関する情報提供

援護

生活保護、児童扶養手当の支給に関する情報提供

引き離しはっぴー

■ 保護命令

裁判所に申し立てると、加害者に対し、保護命令が出されます。

※さらなる暴力により、生命または身体に重大な危害を受ける恐れが大きいときに限ります。

■ 接近禁止命令

加害者が被害者の身辺につきまったり、被害者の住居、勤務先等の付近を徘徊することを禁止します。期間は六カ月。同居する未成年の子、親族等も対象になります。

■ 電話等禁止命令

接近禁止命令とあわせて、被害者への電話や電子メールなどが禁止されます。

■ 退去命令

加害者に家から出て行くようにという命令です。期間は二カ月。

これらの命令に違反すれば、一年以下の懲役または百万円以下の罰金に処せられます。

脳の働きは青年期を過ぎると加齢とともに低下するといわれています。これは体力や筋力が低下するのと同様です。

しかし、体力や筋力は運動習慣により低下の予防もしくは向上させることができます。つまり、体力や筋力は鍛えることができます。脳の働

脳の健康を保つためには

脳は一つの大きなかたまりではなく、大脳・小脳・脳幹とよばれるいくつかの異なった働きを持つ部分に分かれています。

その中の大脳というところに前頭前野とよばれる部分があります。この部分は、額のちょうど裏側にあり、人間の脳の約30%を占めています。その働きは、思考・コミュニケーション・記憶・自制力等に関係し、また、司令塔ともいわれ、脳全体の働きにも関係していることが明らかになってきました。

脳の働きについて

最近、言いたい言葉がなかなか出てこない、もの忘れが多くなったと心配になったことはありませんか。近年、脳を鍛えることでこういった症状が改善されることが分かってきました。今回は、脳の働きとその健康を保つ方法を紹介します。

きについても同じで、鍛えることでその働きが低下するのを防ぐことができるということが最近の研究で分かってきました。

トレーニングで
脳の健康を保ちましょう

それでは、どのように脳を鍛えればよいのでしょうか。

ポイント「集中して行う」「不慣れなことをする」です。例えば、左手が右手に勝つように一人でじゃんけんをしたり、食事の時いつもより多く噛んだり、利き手と反対の手を使い歯磨きをしたりすることなどがあげられます。

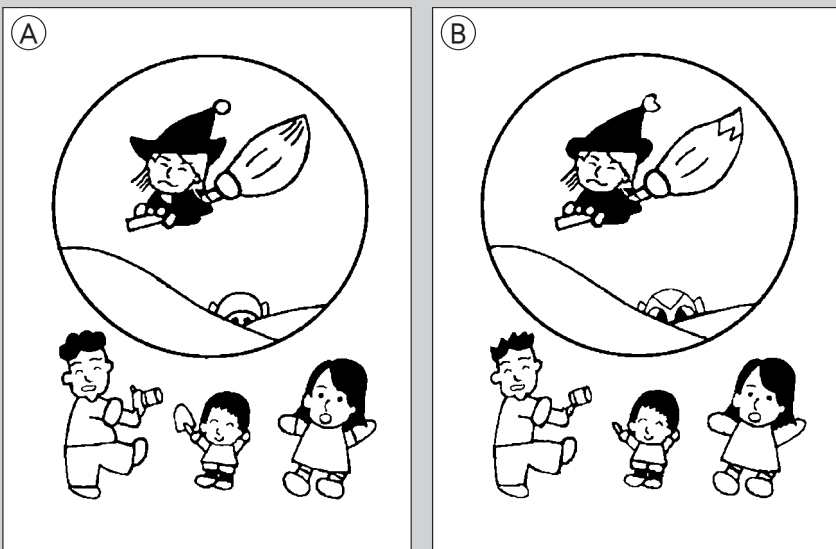
これらにより脳が刺激を受け、活性化します。計算をできるだけ速く解く、声を出して文章を読む、といった特別なトレーニングではなくても、毎日の生活の中にトレーニングの方法は隠れています。



見つけられるかな？

かんたん脳トレにチャレンジ！

AとBの絵には違いが10カ所あります。さあみんなで探してみよう！



【答え】①魔法使いの帽子の形 ②魔法使いの帽子の形 ③魔法使いの帽子の形 ④魔法使いの帽子の形 ⑤魔法使いの帽子の形 ⑥魔法使いの帽子の形 ⑦魔法使いの帽子の形 ⑧魔法使いの帽子の形 ⑨魔法使いの帽子の形 ⑩魔法使いの帽子の形

健康な脳でいきいきとした生活をしましょう

脳を鍛えるという知的な働きに注目されますが、脳には思考にかかわる働きだけでなく、感覚や運動にかかわる働きをする部分もあります。ですから、運動機能を鍛えることも大切です。

とも大切です。また、しっかりと脳に栄養が行き届くような食生活も必要です。

「食事に気をつける」「運動する」「刺激を受ける」。まずはできることから取り組み、健康な脳づくりをしていきましょう。



秋の全国火災予防運動実施中

11月9日（日）から11月15日（土）まで、全国一斉に秋の全国火災予防運動を実施しています。秋も深まり火を使われる機会が多くなってきました。私たち一人ひとりが火災予防の知識を持ち、それを実践することで火災発生の防止に努めましょう。

与謝野町消防団では火災予防週間にこんな取り組みを実施します



昨年の防火パレードの様子

防火パレード

消防車両による防火パレードを11月9日、与謝野町内全域において実施し、広く町民の皆さんに防火を呼びかけます。

防火広報

消防団員による防火訪問、消防車両による防火広報、夜間警戒を実施するほか、防災行政無線や音声告知放送による広報なども実施します。



団員が各家庭を訪問し防火を呼びかけます

団員に聞け！



岩滝第3分団 高岡重隆 班長

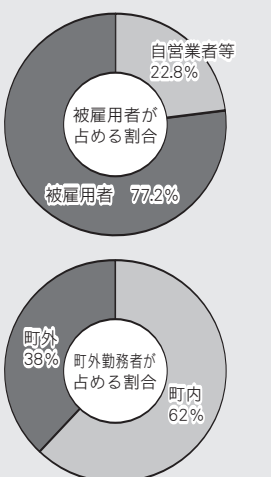
火 事だで！」いつもドキッと瞬間。消防活動で一番に考えることは火事を迅速に消すこと。訓練が大切なのはもちろんのこと、団員みんなのチームワークがあってこそ消火活動ができると思っています。

私も班長になり、責任ある立場になって重圧を感じると同時に、家族や町を守る使命感も感じます。

新コーナー「団員に聞け！」では現役団員の声や思いを紹介します。今後は不定期で掲載する予定です。

近年は自営業ではなく会社勤めや町外に勤務する団員が多くなり（グラフ参照）、消防団活動がしづらくなっています。また、新人の勧誘も難しくなっています。このことは地域住民も含め、みんなで考える必要があると思います。

消防団員データ (総務課調べ)



平成20年度全国統一防火標語「火の始末 君がしなくて 誰がする」

皆さんはどのような「文化の日」を過ごしましたか。また、皆さんにとって「文化」とは何でしょうか。中でも一番興味を持つ分野は何でしょうか。このことを私がもし聞かれたならば、私はためらわずに「食文化」と答えます。「生きるために食べる」のではなく「食べるために生きる」は、私のひそかなモットーです。

日本に住むのは初めてではないのですが、今も日本の食文化は不思議だと思ふことがいくつもあります。特に、学校給食とお弁当のことです。イギリスでもお昼にお弁当を食べる会社員や子どもが少なくありませんが、食べる物は全然違います。日本人は子どもの時から母親の手作り弁当で育てられますから、お弁当を家族や愛情と結び付けて考えると思いません。その上、手作りのものも、市販されているものも、見た目に美しい、肉や魚、野菜などの多くの品を味わえます。

ところが、イギリスでは専業主婦が少なく、朝の時間がありませんし、子どもも自分の分を作るのが珍しくないため、ほとんどのお弁当はサンドイッチまたはベークルとチョコレート、ポテトチップスと果物です。サン

ドイツの詰め物はたいてい肉や魚ですから、昼食で野菜を全然食べない人もいます。食事については日本ほど厳しくしつけをしないので偏食する人が少なくありません。

与謝野町に来る前にも、本で日本の学校給食について読みましたが、それにも関わらず本物を見るとびっくりしました。当番の生徒たちがエプロンをかけ、三角巾とマスクをつけて給食を運び、皆に配膳し、食べ終わったら食器類を返すなんて、イギリスの子どもたちは想像もできないでしょう。

イギリスでは学校給食係の人が(風邪をひいた人も)マスクを使う習慣がないものから、マスクを見ると重い病気を連想するかもしれません。また、給食を食べるのは教室ではなく食堂で食べるのが普通ですし、学校のメニューには主菜2つ以上(その1つは菜食料理)があって、好きなものが選べます。そして、自分の昼食は自分で取って、熱い物だけは給食係が配膳してくれます。

皆さんにとってお弁当や給食は当たり前のことかもしれませんが、私には非常に興味深いことです。国によって食習慣は違います。私は日本にいる間にこの国の食文化をたっぷり味わいたいと思っています。



初めて食べた学校給食

時の贈り物 [第31回 施薬寺の薬師如来立像]

まちの文化財

施薬寺の本堂は境内のやや高い場所にあり、堂内には本尊の薬師如来立像が安置され、脇侍として日光菩薩像と月光菩薩像があり、これらに十二神将像が加わります。薬師如来には日光・月光の両菩薩と十二神将がセットになる場合が多く、施薬寺の薬師如来像はその典型例と言えます。



木造薬師如来立像
●指定区分 与謝野町指定文化財(彫刻)
●制作年代 室町時代
●規模 像高39.8cm
●指定日 昭和57年6月10日

この施薬寺の薬師如来像は、木造で、厳しい表情・やや肩をいからせた姿勢などに平安時代前期の作風がみられますが、衣文表現や彩色などには後世の特徴がみられるとも指摘されており、総合的に判断すると、室町時代に制作された仏像と推定されています。

(与謝野町教育委員会)

今月のオススメの一冊



一般書

幸いなるかな本を読む人 詩集

長田弘/毎日新聞社

梶井基次郎の『檸檬』から『檸檬をもって来た老人』など、国内外の25冊の作品から生み出された同じ数の詩を集めたものです。読んだことのある本についてはもう一度、未読のものは読む前から想像が膨らむ本です。読書の秋、ぜひゆったりと言葉の世界に浸っていただきたい一冊です。



児童書

きがきじゃない

アントワネット・ポーティス(作) 中川ひろたか(訳)/光村教育図書

タイトルからして不思議な本ですが、中身も不思議。表紙にある絵はどうみえますか。「木の枝をもったブタ?」。いえいえ、そうではありません。「あれっ!?'と大変身、どう変わるかはページをめくってのお楽しみ。家族や友だちみんなでほかにどう変身できるか考えてみてください。

新着図書紹介

- 【一般書】『かならず成功する読みかかせの本』赤木かん子/自由国民社 ●『続ける力』伊藤真/幻冬舎 ●『天地人を歩く』火坂雅志/祥伝社 ●『男前猫』新美敬子/河出書房新社 ●『遊行の門』五木寛之/徳間書店 ●『折り・たたみ方手帖』パッチワーク通信社 ●『美女いくさ』諸田玲子/中央公論新社 ●『コンダクター』神永学/角川書店 ●『人生の贈り物』アレックス・ロピラ/ポプラ社
【児童書】『虐待を受けた犬・ベティ』今西乃子/佼成出版社 ●『マザー・テレサへの旅』寮美千子/学研 ●『秋ものがたり』野上暁/偕成社 ●『魔女スピカからの手紙(なんでも魔女商会)』あびるやすこ/岩崎書店 ●『16歳。死ぬ前にしてみたいこと』ジョニー・ダウンハム/PHP研究所 ●『フェアリーショッピング』サリー・ガードナー/講談社 ●『おこる』中川ひろたか(作)長谷川義文(絵)金の星社

江陽中学校2年生が図書館の仕事にチャレンジ

江陽中学校2年生の4人の生徒が9月30日から10月2日までの3日間、職場体験学習として本館でカウンター業務をはじめ、図書の受入作業、新聞や雑誌の整理などの仕事を体験しました。本が大好きだという4人は、書庫での作業などいつもは目にしない図書館の仕事にもとても熱心に取り組み、終了時には「もっと図書館で仕事がしたい」と感想を話してくれました。

最終日には、「おもしろい、みんなに読んで欲しい」という本を集めて、おすすめコメントとともに本棚へ並べてもらいました。11月26日まで、本館で「中学生のおすすめ本」として紹介していますので、ぜひ皆さんご覧ください。



本のカバーフィルムかけに悪戦苦闘



中学生のコメント付きのおすすめ本をぜひご覧ください

ブックトーク講習会 ~子どもの本の世界をもっと広げるために~

- いろいろな種類の本を楽しいお話とともに紹介する「ブックトーク」。今回はその方法について実演を交えて講習します。
●日時/11月29日(土)午後1時30分~
●場所/生涯学習センター知遊館
●講師/北畑博子氏
●申込方法/11月26日(水)までに、電話で図書館へ申し込んでください。
●募集人数/30人程度
●主催/与謝野町読み語り推進活動実行委員会

図書館おはなし会

- <本館「クリスマスおはなし会」>
12月6日(土) ※要申し込み
①午後1時30分~(対象:園児)
②午後3時~(対象:小学生以上)
<加悦分室>
12月13日(土) 午後3時~
<野田川分室「クリスマスおはなし会」>
12月20日(土) 午後2時~中央公民館

●問い合わせ先/与謝野町立図書館 ☎ 46-2451 加悦分室 ☎ 43-0376 野田川分室 ☎ 43-0087
●開館時間/午前10時~午後6時 ●休館日/毎週月曜(本館・加悦分室) 毎週火曜(野田川分室) 毎月最終木曜(共通)

特別支援教育の取り組み

今回は実際に小学校で行っているAちゃんとBくんの事例を挙げながら、特別支援教育について考えてみたいと思います。

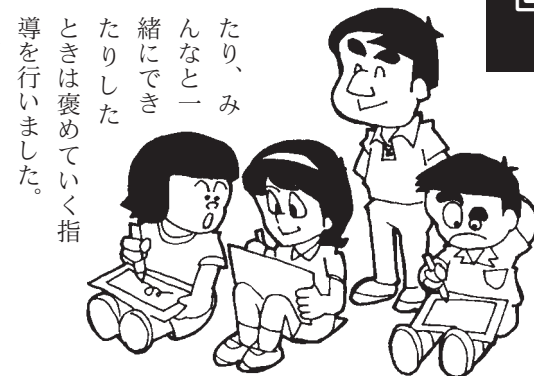
A ちゃんは、強いこだわりがあり、一度関係がうまくいかない、なかなか指示が入りにくい、人とうまく関われないという課題があります。一年生に入学するにあたり、Aちゃんに特別な支援が必要だと考えられました。そこで、入学前に保育所と学校で連携し、支援策を探る取り組みがなされました。

まず、保育所の担任に関わり方について詳しく伺い、小学校へと引き継ぐことが行われました。小学校では、どうしてもAちゃんの良さを生かし、いきいきと学校生活を送らせることができるかを考え、Aちゃんにあった指導計画を立てました。指導計画の目標を「担任を中心にしながら、友だちとの関わりを豊かにする」とし、全職員で理解しました。担任は一学期が始まると同時に、指導計画に沿った指導を行いました。

また、人とうまく関わる力を高めるため、行事などは事前に取り組み内容を知らせたり、うまくいかないときには良い行動の取り方をいねいに指導しました。そのことにより、Aちゃんも自分から進んで友だちと関わっていく姿が見られています。

B 君は学習について理解する力は持っていますが、うまく自分の気持ちを伝えることができないという課題がありました。学校生活の中で、みんなと協力して学習する時には、仲間に入れないという姿もありました。家庭と学校、相談機関等で話し合い、支援策を考えました。

B君の場合、多くの知識は持っていますが、状況に合わせて話すことが苦手です。目で見たいことを正確に捉える力があるので、担任は言葉とともに文字や絵などを添えて指示をして、学習の見通しを持たせました。そして、言葉による指示で行動し



たり、みんなと一緒にできたりしたときは褒めていく指導を行いました。

何をしなくてはいけないかが分かることで、「自分でもできる。自分もみんなと一緒にやれた」という経験を少しずつ積み重ねることができました。それが担任の先生とのつながりや信頼を深くし、自分の気持ちを伝えることが増えるとともに、学習についてもできることが多くなってきています。

このように学校では、児童生徒が持っている課題に対して、少しでも課題解決ができるように計画的に支援をしています。また、児童生徒の持つよさを生かし、一人一人の課題を解決しようとする特別支援教育の取り組みを進めています。

今回は小学校の低学年の子どもの様子について考えてみます。

この時期は、知ったことや体験したことを伝える「コミュニケーションの力や、嫌いだけど、ぼくががんばってみる」という困難に立ち向かう力が芽生えます。子どもの発達を知って、接するゆとりを持って関わり、見守りましょう。

「知ったことを伝えたい」という力
学校や友だちのことを、大好きな人に知らせたくて「えーとな、うーとな」と話します。しっかりと聞いてやると、安心し意欲が高まり順序よく話す力も芽生えます。「うるさいわね、もう」「また後で」と言わず、向き合っていて聞くことが子育てのポイントです。

「見通しを持ち、予測する」力
主張ばかりで待てなかった子どもが、ルールや決まりを守り、「じやんけん」や「役割あそび」もでき始めます。「この後は、ぼくの番だ」と見通しや予測ができ「けれどももくする」の力が育ちます。プランコの順番が代わったり、競争に負けても我慢する力がつきます。褒めると、さらに意欲がふくらみます。

「思いを表現し、やりきる」意志と力
やさしい良い子だったのに、悪

子どもの発達シリーズ ③ 意欲的な子どもを育てるために

子どものまねをしているのか、行動も話も乱暴で「わかっとなやや」「おまえ」「自分でするっちゃ」と言うことを聞かず、自己主張が多くなります。

言われてするのはなく自分で決めたことをやりきろうとする時期です。プランコや一輪車など、同じ事を朝から晩まで何日間もやり続けます。この時期に、やりきる力や仲間と関わる力、探求する心や力が身に付き、伸びます。

「生活リズムの確立」は親の仕事
生活リズムを身に付けるのは親の仕事です。あいさつや起床、就寝の時刻、着替え、排便、歯磨きなど、「今何をするときなのか」を、ていねいに、的確に教える時期です。「何で」「いや」等の疑問や不満は出しますが、かたちではなく愛おしさを全面に一緒にやると、土が水を吸い込むが如く身に付きます。

この時期は、ことばの活動の意欲をいっぱい吸収し、「コミュニケーション能力を高め、がんばり」と自己コントロールする力が育ちます。「学びたい」「友だちと遊びたい」という気持ちが膨らみ、社会性ややる気が芽生えます。他の児童との違いやその子の持ち味や良さを伸ばす、とても大切な時期なのです。

民生委員・児童委員は身近な相談相手です

民生児童委員だより

与謝野町民生児童委員協議会では、民生児童委員だよりを通して民生委員・児童委員の活動を紹介します。今回は各支部で実施した活動を紹介します。



小・中学校先生との懇談

授業を参観する民生児童委員

岩滝支部は、6月に岩滝小学校、7月に橋立中学校との懇談会に参加しました。岩滝小では元気一杯の児童の歌声や熱心な習字の稽古風景を、橋立中では和気あいあいとしたホームルームなどを授業参観。その後、子どもたちがどのような状況に置かれているのか、学校生活を中心に説明を受け、配慮すべき児童・生徒については、担当地区の委員と先生で個別に懇談を持ち、その現状について把握し認識することができました。

子どもや家庭を巡る問題が複雑・多様化・深刻化する中、今後も子どもたちをより良い方向へ導くために、学校をはじめ地域のネットワークと連携を取り、誠意を持って必要に応じた見守り・支援を行うよう心掛けます。お困りのことがございましたら、お気軽にご相談ください。

野田川支部では7月、グループに分かれて町内の7施設を見学しました。各施設とも、職員さんには親切に対応していただき気持ちよく見学できました。入所者・デイサービスを利用されている方にも親切に接しておられ、好感が持て安心しました。「将来自分も入所したい、利用したいと思える施設でありたい」と職員さんはがんばっておられました。

施設内は美しく清掃され、設備も障害のある方にも使用しやすい設計されていました。そんな環境の中、できることは自分です、手伝えることは進んでする等、自立も考えられており、これは必要なことでもあり、良いことだと思いました。現在は待機者も多く、すぐに入所することは無理なので、できるだけ自分自身で気をつけることが大切だと痛感しました。

皆さんの一番の関心事は費用の面だと思います。利用料は原則1割の自己負担ですが（食費、居住費は全額自己負担）、介護度等に応じて変わりますので、まず施設にご相談してください。



町内の介護施設を見学して

スタッフの説明に耳を傾ける民生児童委員

加悦支部では、良く晴れてとても暑かった8月20日、与謝・桑銅小学校校区の学童保育に通う子どもたちと、その校区担当の民生児童委員とで、滝の親水公園に川遊びに出掛けました。

牛乳パックやペットボトルを半分に切って紐をつけた容器を準備し、水着姿で楽しみに待っていてくれました。子どもたちといっしょに川に入ると、冷んやりとしてとても気持ちが良く、子どもの頃ザリガニ釣りをしたことなどを思い出します。網でメダカなどをすくいました。「貝がおった」と見せてくれたのは小さい小さいシジミでした。「川二ナやシジミはきれいな水が好きなんだで」「これはゴニユウ、壁をツツツと登るで」と話が弾みます。

学童保育を訪問して



川二ナなどを網ですくい川遊びをする子どもたち

子どもたちが川遊びを1時間もあるかなと心配していましたが、いつまでも飽きずに遊んでいて名残惜しうでした。すくった魚などを帰りたいと言う子には、自然の中で暮らしているものを飼ったり育てたりするのはなかなか難しいけれど、メダカの餌が売ってあること、飼えなくなったら近くの川に返してやってほしいことを話しました。子どもたちと仲良くふれ合うことができて楽しい半日でした。

国民健康保険からのお知らせ 高額療養費について

☎ 保健課 ☎ 43-1514

●**限度額適用認定証の交付**
限度額適用認定証の交付には申請が必要です。印鑑を持参のうえ、役場へお越しください（保険税に滞納がある世帯には交付されない場合があります）。自己負担限度額は世帯によって異なります。下表「自己負担限度額の区分」を参照してください。七十歳以上で高齢受給者証を交付された方が入院さ

る場合、三割負担の方は「現役並み所得者」、一割負担の方は「一般」の負担区分が適用されています。一割負担の方で町民税非課税世帯の方は低所得Ⅱ、低所得Ⅰの負担区分を適用する限度額適用認定証の申請をしてください。
●**高額療養費の申請**
一カ月の負担が自己負担限度額を超えたときは、高額療養費の支給申請ができます。例としては次のような場合があります。

●**自己負担限度額の区分**
【70歳未満の方】
負担区分 自己負担限度額
上位所得世帯（世帯の基礎控除後の総所得金額が600万円を超える世帯） 150,000円 + (総医療費-500,000円) × 1%
一般世帯 80,100円 + (総医療費-267,000円) × 1%
町民税非課税世帯 35,400円

●自己負担限度額の区分

【70歳未満の方】

負担区分	自己負担限度額
上位所得世帯 (世帯の基礎控除後の総所得金額が600万円を超える世帯)	150,000円 + (総医療費-500,000円) × 1%
一般世帯	80,100円 + (総医療費-267,000円) × 1%
町民税非課税世帯	35,400円

※過去1年間に同じ世帯で4回以上高額療養費に該当したとき、4回目以降は自己負担限度額が減額されます。
※福祉医療費受給者証(老人医療)を交付されている方は、福祉医療制度で高額医療に該当する場合があります。

【70歳以上の方(高齢受給者証をお持ちの方)】

負担区分	自己負担限度額	
	外来 (個人単位)	外来+入院 (世帯単位)
現役並み所得者 (3割負担の方)	44,400円	80,100円 + (総医療費-267,000円) × 1%
一般	12,000円	44,400円
低所得Ⅱ (町民税非課税世帯)	8,000円	24,600円
低所得Ⅰ (町民税非課税世帯で世帯の所得が0円)	8,000円	15,000円

※現役並み所得者で、外来+入院(世帯単位)分が、過去1年間に同じ世帯で4回以上高額療養費に該当したとき、4回目以降は自己負担限度額が減額されます。

●**高額療養費の計算対象**
月の初日から末日までの受診分で計算します。

【申請に必要なもの】
領収書(コピー可)、印鑑、振込口座のわかるもの

※一医療機関でも「入院と外来(総合病院では診療科ごと)」「内科と歯科」は別となります。

●**差額ベッド代や入院時の食事代などは対象外。**
●**保険診療以外の診療は対象外。**
●**七十歳未満の場合、一医療機関での同月内の負担分が概ね二万一千円以上の負担分が合算対象となり、合算した額が自己負担限度額を超える場合が対象です。**

【申請できる例】
◎限度額適用認定証の交付を受けなかった場合
◎交付を受けているが同じ月内に転院された場合
◎七十歳以上で同じ月内に入院と外来がある場合
※他にも該当するケースがあります。

◎差額ベッド代や入院時の食事代などは対象外。
◎保険診療以外の診療は対象外。
◎七十歳未満の場合、一医療機関での同月内の負担分が概ね二万一千円以上の負担分が合算対象となり、合算した額が自己負担限度額を超える場合が対象です。



丹後産地の織物の魅力を多方面にPRしています 丹後ファッションウィーク事業

☎ 商工観光課 ☎ 46-3269

●**繊維素材商談会に与謝野町から九社が出展**
丹後の二市二町、京都府、織物業界と商工団体等で構成する丹後ファッションウィーク開催委員会では、販路開拓事業の取り組みとして、十月十五日から十七日までの三日間、東京ビッグサイト(国際展示場)で開催された国内最大の繊維総合見本市「JFWジャパンクリエーション」に丹後産地の出展プロジェクトを確保し、産地のPRと商談活動を行いました。
アパレル、デザイナー、流通業者等に、産地や製造業者の高



右/出展ブース入り口に設置されたテーマサイン 上/コンセプトゾーンにはインデックス(生地見本)を展示



丹後織物工業組合精練工場を訪問し生地の説明を受ける学生

い、交流を深めました。
今年度は、関西地区の九校とのコラボレーションによる作品制作(丹後産地素材を活用)と産地訪問視察の受け入れを行うこととしており、十月末までに三校が丹後織物工業組合の精練工場や織物工場の見学などを行いました。

●**産官学連携事業も進めています**
ファッション業界を担う若い人たちに、丹後産地や生産されているすばらしい織物を知ってもらうことによって、将来、丹後織物の活用、産地の活性化につなげる目的で、ファッション関連学科を設ける学校との作品制作や産地見学等の交流事業を実施しています。

度な技術力と商品力を紹介するとともに、個別商談により新たな需要開拓を目指す目的で、与謝野町から九社(丹後全体で十六社)の出展があり、にぎやかに開催されました。

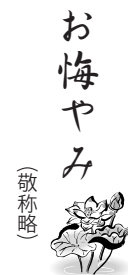
9月入札結果

☎ 総務課 ☎ 46-3003

入札日	工事番号	工事名	工事概要	工事場所	業者数	落札業者名	予定価格 (千円/税抜)	最低制限価格 (千円/税抜)	落札金額 (千円/税抜)	落札率 (%)	工事期間
9/12	20与特下第13号	加悦地区面整備③工事	開削工・人孔設置・公共汚水樹設置	加悦	11者	カヤマ建設工業(株)	11,133	8,806	8,806	79.1	H20/9/26 ~H21/1/21
9/12	20与特下第14号	上山田地区面整備④工事	開削工・人孔設置・公共汚水樹設置	上山田	11者	㈱山添電気岩滝支店	9,789	7,720	7,720	78.8	H20/9/24 ~H21/1/30
9/12	20与商観工第3号	ツバキ公園園路整備工事	転落防止柵設置工・石積工・排水工・その他	三河内	4者	安東組	3,220	2,513	2,890	89.7	H20/9/23 ~12/25
9/12	20与分宅第1号	大道分譲宅地造成工事(その2)	盛土工・側溝工・給水工	三河内	4者	江笠建材(株)	3,136	2,481	2,800	89.2	H20/9/26 ~12/26
9/12	20与道橋新工第12号	上鉢屋敷線道路改良工事	擁壁工・側溝工・台付管設置工・樹設置工	弓木	4者	足立石油(株)	1,687	1,339	1,550	91.8	H20/9/20 ~10/31
9/12	20与住現廃工第1号	与謝野町資源ごみストックヤード舗装工事	舗装工・側溝工	明石	4者	㈱田中工務店	8,535	6,734	6,734	78.9	H20/9/26 ~11/28
9/12	20与林第6号	林道下谷線舗装工事	舗装工・区画線工・アスカーブ工	男山	4者	金下建設(株)	12,057	9,499	9,499	78.7	H20/9/22 ~10/31
9/12	20与水改第6号	三河内簡易水道取水施設新設(電気計装設備)工事	電気計装設備工・取水ポンプ設備工・その他	三河内	4者	桐田機工(株)	27,775	23,608	23,608	85.0	H20/9/25 ~H21/3/25

この欄で紹介する出生とお悔やみは、9月16日から10月15日までの届け出分です。役場窓口で届出の際に希望された方のみを掲載しています。

町内に配布している
広報誌には掲載しています



町内に配布している
広報誌には掲載しています



まちのうごき
平成20年9月末現在

人口	25,116人 (-40)
男	11,850人 (-9)
女	13,266人 (-31)
世帯数	9,028戸 (+7)